

メダカの学校

ここでは、磁石の性質を利用した楽しい実験を紹介します。必要なものも少なく、簡単につくることができます。みなさんも、ぜひチャレンジしてみてください。

■ 用意するもの

磁石（丸型）、発泡容器（どんぶり型）、虫ピン、発泡ビーズ



図1 用意するもの

■ 実験の方法

- ①発泡容器の中に水を入れます。
- ②虫ピンに発泡ビーズを刺し、図2のようなもの（メダカ）をたくさん作ります。
- ③メダカを手を持って、発泡ビーズの方を磁石に近づけ、磁化させる。

（磁石のN極を近づけた場合、上側がS極、下側がN極になります。）

- ④磁化させたメダカを、水に浮かべます。このとき、メダカが等間隔に離れていない場合は、もう一度、磁石に近づけましょう。（虫ピンは同じ極なので、反発し合う。）
- ⑤虫ピンとくっつかないように磁石を近づけてみましょう。図2のものが集まったり、離れたり、くるくる回ったりしますよ。

※発泡ビーズに顔を描くと、とてもかわいいです！！
※図2のものが容器の側面にくっつくことを防ぐため、容器はボウル型のものがお勧めです。

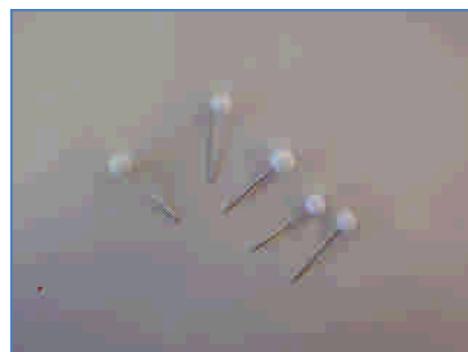


図2 虫ピンに発泡ビーズを刺したもの



図3 メダカの学校で楽しむ様子